

第 56 回建築士会全国大会 しまね大会紹介

5) 島根の近代化遺産 3) 土木遺構

島根の近代化遺産を紹介します。松江が水に恵まれない町だということは先に紹介しました。W. K. バルトンを招いて水源調査を行ったのが明治の 30 年代ですが、水道が開通したのは大正期に入ってからです。右の写真は最初に作った貯水ダムです。重力式の擁壁はモルタルに石を貼り付けたも



千本ダム貯水池ダム

のです。点検用のダム下への通路入口が近代建

築らしくデザインされています。忌部浄水場の各貯水池ポンプ室もかなりデザインされています。



松江の忌部浄水場貯水池



隠岐 西郷岬灯台

世界の灯台 100 選に選ばれた灯台が島根には二基あります。一つは島根半島の

東端に配置された美保関灯台。明治 31 年初灯のスコットランド風灯台です。地元の森山石を使った石造です。もう一つは出雲大社から北へ車で 20 分程度行った日御碕にある日御碕灯台です。これは珍しい二重外郭構造で内側のシャフトをレンガで造り、外側は森山石製です。この灯台の高さは日本一です。断崖の上のさらに高く灯台を作ったのは、日露戦争に備えてのものとも言われます。もう一つ浜田には馬島灯台



美保関灯台と旧吏員退舎入口



があります。隠岐にも一つ、少々アールデコ調の西郷岬灯台です。大正 10 年初灯。

記念塔を最後に紹介します。出来たのは昭和 4 年ですが昭和 2 年に行われた海軍の演習は嵐の中でした。そして躁艦を誤り、衝突し、沈没した乗組員の霊を慰めるために建てたものです。なんとなくアインシュタインタワーのような。



日御碕灯台



美保関の慰霊塔